

第43期 報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日



(弥陀ヶ原ホテルと富山平野の夜景)

立山貫光ターミナル株式会社

21年度事業概況 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

当期の立山黒部アルペンルートは、前年同様、4月10日に、富山側は立山～弥陀ヶ原間、大町側は信濃大町～室堂間が営業を再開し、4月17日には、立山～信濃大町間が全線営業再開となり、11月30日まで営業いたしました。

当期の営業の経過につきましては、ホテル立山では企画団体が好調で前年並みに数字を押し上げましたが、世界的不況と新型インフルエンザ、為替の影響に伴う訪日旅客減少による食堂部門の減収が響き、4月から9月まで対前年増減を繰り返しました。9月は、「シルバーウィーク」により、宿泊人員で対前年106%と前年を大幅に上回りましたが、10月、11月は「シルバーウィーク」の反動、天候不順、さらに紅葉が例年に比べ早めに訪れた影響もあり、対前年80%台にとどまりました。その結果、シーズンを通して宿泊人員は、34,019人（対前年99%）となりました。

弥陀ヶ原ホテルにつきましては、6月と「シルバーウィーク」で好調だった9月以外は前年を下回り、全体的に低調に推移しました。また、10月、11月も「シルバーウィーク」の反動等で宿泊人員で対前年70～80%台と大変厳しい数字となりました。その結果、シーズンを通して宿泊人員は、14,817人（対前年93%）となりました。

当期から経営受託した宇奈月国際ホテルにつきましては、前半は、インターネット商品の積極的造成に「ETC休日割引」が加わり、個人客が好調に推移しましたが、10月以降インフルエンザの流行や、シルバーウィークの反動により失速いたしました。また、個人客の増加等により宿泊者単価の低下がみられました。その結果、シーズンを通して宿泊人員は、29,960人（対前年102%）となりました。

この結果、当期の売上高は、ホテル立山宿泊収入7億8百万円（対前年99%）、弥陀ヶ原ホテル収入3億50百万円（対前年93%）、宇奈月国際ホテル収入5億94百万円、室堂飲食及び物品販売収入9億46百万円（対前年96%）となり、これにビル賃貸収入1億74百万円（対前年100%）を加えた売上高合計は27億72百万円（対前年123%）となりました。さらに営業外収益9百万円を加えた収益合計は27億81百万円（対前年123%）となった次第であります。なお、宇奈月国際ホテルの営業収益を除く収益合計では、対前年97%となります。

次に営業費につきましては、人件費、物件費の圧縮など経営全般にわたる効率化に努めました結果、27億23百万円（対前年123%）となり、これに営業外費用2百万円を加えた費用合計は27億25百万円（対前年123%）となりました。

以上により、当期の経常利益は56百万円（対前年115%）となり、これに特別損失、法人税等ならびに税効果会計による法人税等調整額を加減して、当期純利益は33百万円（対前年77%）を計上することとなりました。

ホテル立山宿泊営業成績表（平成21年度）

項 目	実 績	前年比%
営 業 日 数	235	100
宿 泊 人 員	34,019	99
一日平均宿泊者数	145	99
営 業 収 入	707,606	99
宿 泊 収 入	705,333	99
雑 収 入	2,272	90
一 日 平 均 収 入	3,011	99
客 室 数	85	100
延 使 用 客 室 数	14,399	99
客 室 回 転 率	72	99
宿 泊 定 員	265	100
宿 泊 効 率	55	99

（備考）営業期間(当期)：平成21年4月10日～平成21年11月30日(宿泊日数234日)

営業期間(前期)：平成20年4月10日～平成20年11月30日(宿泊日数234日)

弥陀ヶ原ホテル営業成績表（平成21年度）

項 目	実 績	前年比%
営 業 日 数	221	96
宿 泊 人 員	14,817	93
一日平均宿泊者数	67	97
営 業 収 入	350,427	93
宿 泊 収 入	281,131	93
雑 収 入	941	97
食 堂 収 入	28,956	87
売 店 収 入	39,398	100
一 日 平 均 収 入	1,585	97
客 室 数	52	100
延 使 用 客 室 数	6,444	92
客 室 回 転 率	56	96
宿 泊 定 員	176	100
宿 泊 効 率	38	97

（備考）営業期間(当期)：平成21年4月10日～平成21年11月16日(宿泊日数220日)

営業期間(前期)：平成20年4月10日～平成20年11月25日(宿泊日数229日)

室堂飲食及び物品販売業営業成績表（平成21年度）

項 目	実 績	前年比%
営 業 日 数	235	100
室 堂 到 達 人 員	797,108	93
営 業 収 入	946,290	96
食 堂 収 入	242,625	84
喫 茶 収 入	112,211	96
売 店 収 入	584,760	102
雑 収 入	6,692	102
一 日 平 均 収 入	4,026	96
営業収入/室堂到達人員	1,187	103

（備考）営業期間(当期)：平成21年4月10日～平成21年11月30日

営業期間(前期)：平成20年4月10日～平成20年11月30日

宇奈月国際ホテル営業成績表（平成21年度）

項 目	実 績	前年比%
営 業 日 数	365	100
宿 泊 人 員	29,960	102
一日平均宿泊者数	82	102
営 業 収 入	593,529	96
宿 泊 収 入	461,294	-
追加飲食収入	41,747	-
施設利用収入	11,609	-
日帰り収入	22,728	-
売店収入	50,199	-
雑収入	5,949	-
一日平均収入	1,626	96
客 室 数	64	100
延使用客室数	11,494	102
客室回転率	49	102
宿 泊 定 員	304	100
宿 泊 効 率	27	102

（備考）営業期間(当期)：平成21年4月1日～平成22年3月31日

前年比は、立山黒部貫光㈱における前年度の営業実績をもとにしています。

財産および損益の状況の推移

区 分	第40期	第41期	第42期	第43期(当期)
	(平成18年度)	(平成19年度)	(平成20年度)	(平成21年度)
売 上 高 (千円)	2,161,725	2,107,070	2,251,497	2,772,207
当期純利益(損失) (千円)	△41,030	16,303	42,720	32,797
1株当たり当期純利益(損失)	△45円59銭	18円11銭	47円46銭	36円44銭
総 資 産 (千円)	2,156,343	1,988,587	1,859,388	1,978,696

平成22年度の取り組み

1 営業力の強化

ホテル販売については、昨年からアルペンルートのホテル立山・弥陀ヶ原ホテルと宇奈月国際ホテルの3館が一体となつての誘客を図るために、本社に営業部門を設置し旅行会社への働きかけを一元化しております。今後も業界動向を注視し、旅行代理店との協力関係を強化するとともにアルペンルートの営業部門と一体となった販売強化に努めてまいります。

2 食堂部門の強化

昨年、ホテル立山の食堂施設では、持ち込みの食事等の影響により大幅な減収となりました。そこで、本年は新たな地産メニューを導入し、差別化による販売力の強化を行います。また、旅行代理店との連携強化により、オプション食の確保に力を注ぎます。昼食団体の弁当についても改良を加え販売力の強化をはかってまいります。

3 顧客満足度の向上

ホテル立山・弥陀ヶ原ホテル2館では、山岳リゾートホテルとしての特長を活かした高原散策やスライドショー、スターウォッチングなどの企画イベントを実施しております。また、宇奈月国際ホテルでは、和風旅館のあたたかさを取り入れたリゾート温泉ホテルとしての特長を活かし、季節ごとで異なるサービスにきめ細かに対応しております。今後も各館の特長を活かしたサービスの充実を図るとともに、基本である接客や食事サービスの一層の向上を通じて、顧客満足度の向上を図り、お客様が何度でも利用したい、紹介したいという思いを抱いていただけるようなホテルとなるよう努めてまいります。

また、ネット上のクレームを含めたお客様の声を真摯に受け止める姿勢と同時に、立地による制約をお客様に丁寧に説明し、理解していただく努力を続けてまいります。

4 個人客・リピーターの確保

近年、インターネットによるホテル予約は漸次増加傾向にあり、ホテルの客室販売にとって非常に重視すべきものとなっております。今後、自社ホームページにおいて最新情報を随時提供するなど、新鮮かつ魅力的な情報発信に努めるとともに、きめ細かな価格設定に取り組むことで柔軟で効率的な客室販売を行い、個人客の獲得に努めてまいります。

5 宿泊・食品の安全確保

ホテル事業を営む当社にとりまして、安全の確保は当然のことであり、施設設備・食品の安全には今後とも万全を尽くしてまいります。近年、重大事故・偽り等の不祥事が相次いでいるところから、お客様の安全に対する関心が高く、会社も安全に対する社会的責任が厳しく問われております。

当社では、施設の日常点検と整備および食品の衛生管理と仕入食材の品質管理を徹底し、お客様に安心・信頼・信用してご利用いただけるよう努めてまいります。

財務諸表

貸借対照表の要旨

(平成22年3月31日現在)

		(単位: 百万円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	543	流動負債	239
現金及び預金	452	支払手形	19
売掛金	7	買掛金	27
未収金	7	短期借入金	29
商品	3	未払金	25
貯蔵品	42	未払費用	11
前払金	4	未払法人税等	44
繰延税金資産	25	未払消費税等	28
		預り金	3
		賞与引当金	49
固定資産	1,435	固定負債	355
有形固定資産	1,090	長期借入金	13
建物	636	退職給付引当金	334
建物附属設備	155	役員退職慰労引当金	7
構築物	106	負債合計	594
機械及び装置	17	(純資産の部)	
車両及び運搬具	5	株主資本	1,430
器具及び備品	50	資本金	900
土地	119	利益剰余金	530
無形固定資産	6	その他利益剰余金	530
ソフトウェア	4	繰越利益剰余金	530
電話等加入権	1	評価・換算差額等	△ 46
投資その他の資産	338	その他有価証券評価差額金	△ 46
投資有価証券	131	純資産合計	1,384
関係会社株式	35	負債・純資産合計	1,978
繰延税金資産	137		
その他	34		
資産合計	1,978		

損益計算書の要旨

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

		(単位: 百万円)	
科目	金額	科目	金額
売上高	2,772		
売上原価	733		
売上総利益	2,038		
販売費及び一般管理費	1,989		
営業利益	49		
営業外収益	8		
営業外費用	2		
経常利益	55		
税引前当期純利益	54		
法人税、住民税及び事業税	42		
法人税等調整額	△ 19		
当期純利益	32		

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	
		その他 利益剰余金	利益剰余金 合計			
前期末残高	900	497	497	1,397	△62	1,334
当期変動額						
当期純利益		32	32	32		32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					16	16
当期変動額合計	-	32	32	32	16	49
当期末残高	900	530	530	1,430	△46	1,384

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要／役員 (平成22年3月31日現在)

●設立年月日
昭和42年12月24日

●資本金
9億円

●発行済株式総数
900,000株

●株主数
2名 立山黒部貫光株式会社
富山地方鉄道株式会社

●役員

代表取締役社長		中村憲史
常務取締役	総務部長	佐伯博
常務取締役	経営監査室長兼経営企画室長	堀内和夫
常務取締役	経理部長	佐川栄
取締役		桑名博勝
取締役		村井宏光
取締役	ホテル営業部長	永崎泰雄
取締役		野島浩二
監査役		松岡彰
監査役		川岸宏
監査役		稲田一朗

アルペンルートと会社のあゆみ

昭和27年 4月 1日	立山開発鉄道株式会社（TKR）設立（資本金2,500万円）
29年 8月13日	鋼索線（千寿ヶ原～美女平）営業開始
30年 7月 1日	高原バス（美女平～弘法）営業開始
31年10月 4日	弥陀ヶ原ホテル営業開始（TKR）
35年 5月 8日	富山県・北陸電力(株)・TKR・関西電力(株)により 立山黒部有峰開発株式会社（TKA）設立
39年 6月20日	高原バス全線（美女平～室堂）営業開始
8月 1日	関電トンネルトロリーバス（扇沢～黒部ダム）営業開始
11月 7日	TKA第34回取締役会で新会社（TKK）設立を決議
12月25日	立山黒部貫光株式会社（TKK）設立（資本金4億円）
42年12月24日	立山貫光ターミナル株式会社（TKT）設立（資本金3,000万円）
44年 5月 8日	室堂ターミナルビル建設工事着工
7月20日	黒部ケーブルカー（黒部湖～黒部平）営業開始
12月 9日	立山トンネル貫通
45年 7月 1日	富山～信濃大町間を「立山黒部アルペンルート」と命名
7月25日	立山ロープウェイ（黒部平～大観峰）営業開始
12月15日	一般自動車道 桂台～美女平間供用開始（TKA）
46年 4月25日	立山トンネルバス（室堂～大観峰）営業開始
5月20日	TKAが自動車道を富山県道路公社に移管
6月 1日	立山黒部アルペンルート全線開業
47年 8月28日	室堂ターミナルビル全館完成
9月 1日	ホテル立山営業開始
53年10月20日	立山有料道路（美女平～室堂）舗装完了（富山県）
54年10月 1日	TKKとTKAが合併
61年 4月11日	宇奈月国際ホテル新築工事着工
62年 9月21日	宇奈月国際ホテル営業開始
平成 2年10月 1日	立山黒部サービス株式会社（TKS）設立（資本金1億円）
3年10月11日	弥陀ヶ原ホテル改築のため閉館
6年 7月12日	弥陀ヶ原ホテル改築営業開始
12年 4月 1日	弥陀ヶ原ホテルTKRから経営受託
17年10月 1日	TKKとTKRが合併 (存続会社 立山黒部貫光株式会社)
21年 4月 1日	宇奈月国際ホテルTKKから経営受託

ホテル3館のご案内

立山黒部アルペンルート



ホテル立山

〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦峯寺室堂
☎ (076) 465-3333 FAX (076) 465-3336
<http://www.alpen-route.co.jp/h-tateyama/>



弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦峯寺弥陀ヶ原
☎ (076) 442-2222 FAX (076) 442-2242
<http://www.alpen-route.co.jp/midagahara-h/>

宇奈月温泉



黒部峡谷宇奈月温泉 宇奈月国際ホテル

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7-26
☎ (0765) 62-1236 FAX (0765) 62-1808
<http://www.alpen-route.co.jp/unazukikokusaihotel/>

(編集・発行) 立山貫光ターミナル株式会社

〒930-8558 富山県富山市桜町1-1-36

☎ (076) 441-3331 (代表) FAX (076) 432-9056